

# 性犯罪者更生課題残る

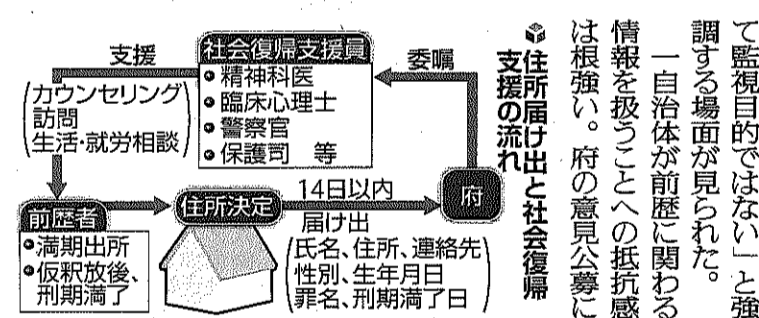
開会中の大阪府議会に提案されている「府子どもを性犯罪から守る条例案」が、単独過半数を占める大阪維新の会などの賛成で、23日の総務委員会と本会議で可決、成立する見通しだ。子どもを狙った性犯罪の前歴者に対し、自治体への住所の届け出を義務づける全国初の条例。府は「前歴者を更生に導き、被害をなくすため」と強調するが、制度化を巡る課題は多い。

## きょう成立へ

## 前歴者住所届け出 大阪府条例

条例案は、18歳未満に対する強姦や強制わいせつなどの性犯罪で刑期を満了してから5年以内の者が府内に住む場合、住所、連絡先などを知事に届け出るよう義務づけた。違反者は5万円以下の過料。届け出た前歴者に対し、社会復帰に向けた相談や必要な支援を行うとしている。成立すれば10月1日に施行される。

## 情報管理・支援に不安



「府民に、監視のための条例と受け止められていないか」。府議会総務委員会では、条例の趣旨をたえず質問に、府の担当者が「社会復帰支援が目的で、決して監視目的ではない」と強調する場面が見られた。自治体が前歴者に関する情報を扱うことへの抵抗感も強い。府の意見公募には、社会復帰支援の具体像も見えていない。府は、研修を積んだ「社会復帰支援員」に委嘱する方針で、精神科医、臨床心理士、警察官、保護司などを想定しているが、人選はこれからだ。

は、「人権侵害だ」「府外に転居すれば意味がない」など批判的な声も寄せられている。大阪弁護士会(中本和洋会長)は、「罪名、出所年月日」が届け出項目に含まれている点を問題視、「情報が漏れれば被害の被害が甚大なのに、情報の管理規定が不十分」などとして、制定に反対する会長声明を発表している。

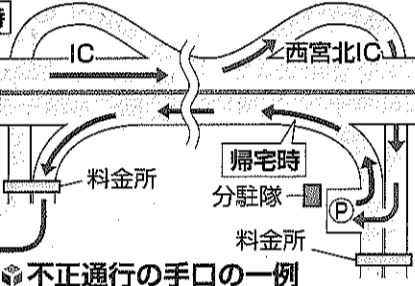
条例案は、13歳未満の子どもへのつきまといや脅迫行為などを罰則付きで禁止。目撃者には警察に通報するよう求めるなど、子どもを性犯罪から守る施策への協力を、府民の「責務」として掲げている。

路上にいた男児(6)と中学3年の女子生徒(15)を無理やり車に連れ込んだとして、兵庫県警たつの署は22日、同県明石市二見町東二見、会社員藤原誠容疑者(32)を未成年者略取の疑い

## 元高速隊員通勤で料金不正

### 兵庫県警 3人書類送検へ

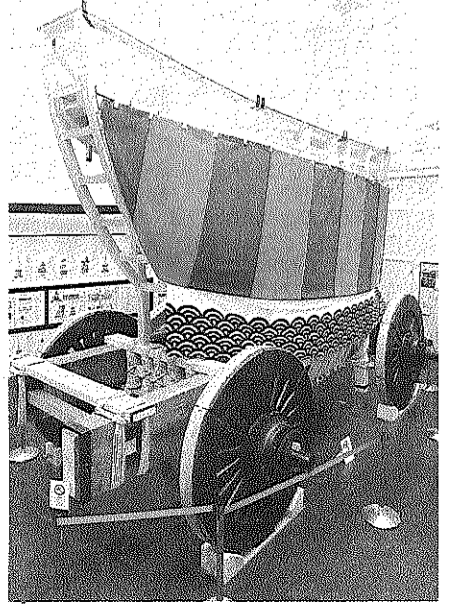
### 隠蔽元幹部らも



兵庫県警高速隊西宮北分駐隊の元隊員3人が、マイカー通勤する際、ETC(自動料金収受システム)を利用して高速道路を不正通行し、計125回約17万円分の料金の支払いを免れていたことがわかった。県警は23日、資料で出動が確認できると約9万円分について、3人を電子計算機使用詐欺(平成24年)3月23日(金曜日) 第3種郵便物認可

捜査関係者によると、書類送検されるのは、元分駐隊員の社署巡査部長(43)、篠山署巡査部長(34)、網干署巡査部長(38)の3人と、元高速隊長(退職)、元高速隊副隊長(62)(同)、元高速隊隊長補佐の交通部署長(59)。

また、09年12月、元幹部3人は西日本高速の指摘で不正を知ったが、「早急



## 大船鉾復活まで「代役」唐櫃巡行

祇園祭の山鉾巡行への復活を目指している「大船鉾」について、今年7月17日の巡行では神面を唐櫃に納めた「唐櫃巡行」の形で参加すると、祇園祭山鉾連合会が22日発表した。大船鉾は絵図を基に昨年

## 偽警察記章売り

1000

制作中の大船鉾と巡行する唐櫃(四條町大船鉾)